

## 公立大学法人北九州市立大学中期目標

### はじめに

北九州市は、人口減少、高齢化及び産業構造の変化といった課題に直面しており、特に若者の定着促進は、喫緊の課題となっている。

このため、北九州市は、令和2年4月に第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、新たな仕事の創出により新たな人の流れやまちのにぎわいが生まれ、そこで更に新たな仕事が創出されるという好循環の創出に向けて、若者の定着の一層の促進等に取り組み、誰もが住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを目指している。

また、国からSDGs未来都市に選定されている北九州市では、令和12年（2030年）のあるべき姿として、SDGsを踏まえた教育の実践による「未来の人材が育つまち」、環境と経済の好循環による「ゼロカーボンシティを目指すまち」等の5項目を掲げ、SDGsの達成に向けた取組を進めている。

このようなことを背景に、北九州市は、北九州市立大学が知の拠点として、北九州市が目指すまちづくりに資することを求める。中でも、人々の生活や企業活動の変革に大きく寄与するデジタル・トランスフォーメーション

（DX）を担う人材や起業家精神（アントレプレナーシップ）と論理的思考力を備えたまちを支える人材を輩出し、これら人材の市内への定着を図るとともに、大学発の優れた技術の実用化等により新産業の創出に資する等の地域への貢献を期待する。

また、北九州市への愛着や誇り（シビックプライド）を胸に、社会で活躍する人材を育成することを期待する。

一方、18歳人口の減少等により大学間競争が激化する中で、大学が地域や社会の要請に応えながら発展していくためには、大学自らの強みや特色を生かしつつ、複数の大学での人的・物的資源の共有を可能とする大学等連携推進法人制度の導入も視野に、大学間の連携をより強固なものにしながら自治体や産業界等と連携し、及び協力していくことが重要である。

北九州市は、北九州市立大学が、他大学等と連携し、及び協力して北九州市の目指すまちづくりの実現に資すること等を通じて、学生、保護者、企業、市民等の大学関係者（ステークホルダー）に価値ある大学として選ばれ、更に発展していくことを期待し、ここに令和5年度から令和10年度までの中期目標を定める。

### 第1 中期目標の期間

令和5年4月1日から令和11年3月31日までの6年間

## 第2 教育に関する目標

### 1 学修者本位の教育の推進

予測困難な時代を生き抜く自律的な学修者を育成するため、教学マネジメントの確立、学修成果の可視化等に取り組み、学修者本位の教育を推進する。

### 2 地域や社会の未来を担う人材の育成

産業界や北九州市と連携しながら、起業家精神を有する人材の育成を図るとともに、数理・データサイエンス・AI教育に取り組み、専門分野の知識や技能に加えて論理的思考力及びデータ活用力を有する人材等の多様な人材の育成に努める。

また、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う博士後期課程学生の育成に取り組む。

なお、定員を満たしていない一部の研究科においては、大学院教育に対する社会のニーズを把握し、それを踏まえた魅力的な大学院のあり方について検討の上、教育課程の再編に着手する。

### 3 国際化の推進

学生の海外留学、外国人留学生の受入れその他の様々な形の国際交流体験等を通じて、国や地域を超えた広い視野を持ち、グローバルに活躍する人材を育成するとともに、学生と地域との交流を推進し、地域社会の国際化に寄与する。

### 4 学生支援の充実

多様な個性やニーズを持つ学生に向けて、修学や心身の健康等に関する支援、就職支援の充実等、入学から就職に至るまでの適切な学生支援を実施する。

### 5 入試制度の見直し及び広報の充実

優秀な学生を安定的に確保するため、積極的かつ効果的な入試広報を実施するとともに、入試制度や広報活動の継続的な検証及び改善に取り組む。

## 第3 研究に関する目標

### 1 地域課題の解決や社会の要請に応える研究の推進

地域課題の解決や地域産業の発展に寄与するため、市内企業等との共同研究を推進するとともに、脱炭素技術開発、新エネルギー開発等の持続可能な社会に向けた先端的な研究を推進し、社会的要請に応える。

### 2 研究成果の還元

大学が強みや特色を持つ研究領域において、産業界等とも連携し、国内外の研究機関、企業等が有する多様な資源を活用しながら、社会実装に向

けた研究・技術開発を進める。

### 3 優れた研究等への支援

科学研究費の獲得に向けた支援、学内競争的資金の活用等により、優れた研究や若手研究者への支援の充実を図る。

## 第4 地域（社会）貢献に関する目標

### 1 シンクタンク機能の強化

産業界や北九州市との連携を深めることで、高齢化、地域コミュニティの希薄化等といった地域や社会が直面する様々な課題に対するシンクタンク機能を強化し、地域の知の拠点としての社会的役割を果たす。

### 2 SDGs 未来都市への貢献

SDGsの達成に向けた様々な取組を積極的に推進し、「SDGs 未来都市」としての北九州市の発展に資する。

### 3 リカレント教育の推進

社会人等の学び直しや課題解決のニーズを踏まえたりカレント教育を積極的に推進し、学修者が生涯学び続けられる機会の提供に努める。

### 4 地元就職率の向上

学生と市内企業及び産業界のニーズをより精緻に調査し、及び分析して地元就職支援に取り組み、地方創生の推進に寄与する。

### 5 大学間の連携の推進

北九州市との連携の下、大学等連携推進法人制度等を含め、大学の強みや特色を生かした他大学との連携のあり方について検討し、大学間の連携の更なる推進に努める。

## 第5 管理運営等に関する目標

### 1 業務運営の改善及び効率化

理事長及び学長のリーダーシップの下で、戦略的に大学をマネジメントする。

また、DX等の推進により業務の効率化や機能強化を推進するとともに、北方及びひびきのの両キャンパスを一元的に捉え、学内の資源配分の最適化を図る。

### 2 財務内容の改善

外部資金の継続的な獲得、卒業生や関係者等からの寄附金の充実等による財源の多元化を進め、健全な財務運営に努める。

### 3 自己点検・評価、情報提供等

自己点検・評価を適切に実施するほか、教育研究の成果や地域貢献等の大学の取組について積極的に情報発信し、地域社会との連携の強化に努め

る。

#### 4 その他業務運営

##### (1) 危機管理及び法令遵守の徹底

日常における安全管理はもとより、自然災害、感染症、海外での紛争等が発生した際の学生等の危機管理を徹底するとともに、人権及び法令遵守の意識の向上に取り組み、社会的信頼の確保に努める。

##### (2) 教員の多様性の向上

教育・研究力に優れた若手、女性等の教員の積極的な採用、登用等により、教員の多様性の向上に努める。